

学校だより

平成30年度 第1号

こくぶん

市川市立国分小学校

校長 小林 恵子

平成30年 4月12日

学校教育目標 未来を切り拓く国分っ子の育成
～豊かな心を持ち、しっかり考え、最後までやりぬく子～
<http://www.kokubun-syo.ichikawa-school.ed.jp/index/index.htm>

進級・入学、おめでとうございます

4月は出会いの季節。2日に、新しい職員を迎え、9日は、一つずつ学年があがった子供たちが、楽しい春休みを終えて元気に登校しました。始業式では、スライドを使いながら、夢や目標に向かって「はじめの一歩」を踏み出してほしいことを話しました。学年があがったことを自覚した真剣な眼差しの子供たちに、頼もしさを感じたひとこまでした。そして10日の入学式には、ピカピカの1年生が仲間入りしました。大きなランドセルが背中になじむ頃には、学校生活にも慣れてくることと思います。式では、6年生の子供たちが、お兄さん、お姉さんの表情で、1年生の手を引いて誘導してくれました。2年生は、一生懸命に練習した縄跳びや詩の朗読等を弾ける笑顔で披露してくれました。子供たちの成長ぶりに、胸が熱くなると同時に、身の引き締まる思いでした。

さて、今年度は、児童数295名、15学級でスタートしました。本校は、おかげ様で、保護者の皆さまをはじめ、地域の方々からのたくさんのご支援をいただきながら教育活動を展開しています。地域の宝である子供たちの健やかな育成を目指して、教職員一同、一人一人を大切にしたい教育活動に努めていきます。今年度も、保護者の皆さま、地域の皆さま、どうぞ本校の教育活動にご理解をいただき、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

お願い

今年度も、入学式で「交通安全」について子供たちに話をしました。学校周辺は、外環工事も続いています。交通ルールを守るのみならず、危険を予測して自分の身を守ることにについて、発達段階に応じた指導を重ねていきます。特に、交通安全に関しては、ご家庭でも、是非、お子さんと一緒に確認してください。よろしくお願いいたします。

朝夕、ボランティアで見守りをしてくださる地域の方や交通安全指導にご協力くださる保護者の皆さま、いつもありがとうございます。

学校教育目標

未来を切り拓く国分っ子の育成
～豊かな心を持ち、しっかり考え、最後までやりぬく子～



目指す子供像

- ① 自分から学ぶ子
- ② 心豊かで思いやりのある子
- ③ たくましく、最後までやりぬく子

目指す教師像

- ① 子供一人一人を大切にし、わかる授業づくりに努める教職員
- ② 仲間と共に、保護者や地域と協働する教職員
- ③ 子供のために、自己を高める教職員

目指す学校像

- ① 子供・保護者・教職員が誇りに思える学校
- ② 子供が、安全で安心して学べる学校
- ③ 地域を大切にし、保護者や地域から信頼される学校



平成30年度 職員構成（*HP上では氏名を控えさせていただきます）

校長	初任者指導	つくし1
教頭	後補充指導	つくし2
教務主任	学校司書	つくし3 (主任)
音楽専科	ゆとろぎ	つくし補助
市少人数	スクール・サポーター・スタッフ	1年1組 (主任)
養護	スクール・サポーター・スタッフ	1年2組
県事務	スクール・サポーター・スタッフ	2年1組 (主任)
市事務	スクール・サポーター・スタッフ	2年2組
栄養士	外国語活動	3年1組
用務員	外国語活動	3年2組 (主任)
	A L T	4年1組
	たまごプロジェクト	4年2組 (主任)
		5年1組
		5年2組 (主任)
		6年1組
		6年2組 (主任)

これからの（4月）主な行事予定

13日（金）	学級懇談会・PTA専門委員会	26日（木）	全校歩き遠足（里見公園）※雨天中止
17日（火）	1年生給食開始 6年全国学力・学習状況調査実施 2～5年 学力テスト実施	27日（金）	避難訓練
18日（水）	ワクワク活動	今月は、身体計測の他、内科・耳鼻科検診等の保健行事がありますので、詳細については、学年だよりをご覧ください。	
20日（金）	学習参観 PTA総会		
23日（月）	全校集団下校訓練		

新しい教育課程について

「**道徳の時間**」が「**道徳科**」になります

～子供たちが考え、議論する道徳へ～

※「教科」とは、教科書を使用し、教科ごとの免許があり、数値等による評価を行うものをいいますが、道徳については、数値による評価を行わず、担任が担当することから、特に「特別の教科」という新たな位置づけが設けられました。小学校では、平成３０年度から始まります。

道徳の学習は、答えが一つではありません。じっくり「考える」、考えたことをグループや学級全体に「話す」、友だちはどう考えているかよく「聴く」ことが大切になります。また、自分はどう考えるのか、これからどうしていきたいかなど、自分のこととして考えることが大切になります。

評価については、

道徳科での学習状況や道徳性にかかる成長の様子を文章で記述します。良いところを認め、励ます個人内評価となります。

道徳性を評価するわけではなく、自分自身を見つめ、自分の考えを深めることが大切であること、評価が、「成績が悪くなる」や、進学等に影響するというものではないことを子供たちに伝えていきますが、ご家庭でも、子供たちに、自分自身の考えを持っていることの良さを感じさせ、道徳的な価値などについて話し合う機会をもち、互いの考えを認め、励ましてください。

これまでと同様に、道徳教育は、教育活動全体を通じて行われるものであり、道徳科は要の授業となります。学校教育目標にあるように、豊かな心で、しっかり考え、最後までやりぬく子供たちの育成を目指していきたいと思います。

外国語教育の先行実施について

昨年１０月に教育委員会からのお知らせにありましたように、４月から、３、４年は「外国活動」を年間３５時間、５、６年生は「外国語科」を年間７０時間指導することになります。

なお、本校では、６時間目の増加はありませんが、朝の学習の時間の１５分間を週３日加え、１時間（１コマ）としています。

